

13. 高気圧酸素治療における私的勉強会

一背景、経過及び内容一

鈴木尚人^{*1)} 鹿討忠範^{*2)} 小熊美行^{*3)}
長谷川清純^{*4)} 岸 則和^{*5)} 関川智重^{*6)}

^{*1)} 札幌しらかば台病院 ^{*2)} 美唄労災病院 ^{*3)} 桜台脳神経外科病院 ^{*4)} 柏葉脳神経外科病院 ^{*5)} 函館脳神経外科病院 ^{*6)} 旭川リハビリテーション病院	
---	--

近年、北海道において高気圧酸素治療装置を導入・稼働する施設が増加してきた。この治療を理解し、安全に行うために我々技術職員にとっても日頃の学習が大切になってくる。しかし、その日常の学習方法も特に専門書がない現在、医師に依存しながらの独学によるしかないのが実情である。

このような現状の中、我々は臨床工学技士のみならず、看護婦（士）、准看護婦（士）を含め、高気圧酸素治療に従事する者を対象とした勉強会を計画し、過去2年間に2回を行い、今後も継続して実施する事を参加者間で話し合った。

今回は、我々の行っている勉強会開催の背景とその経過及び内容を日本高気圧環境医学会技術部会への要望をも含めて報告したい。